

1月30日(火)

あなたの羊飼いを信じなさい

聖書朗読 ヨハネ 10:7~10

大人数によるものであっても、小人数によるものであっても、主がお救いになるのに妨げとなるものは何もない。
I サムエル 14:6

私は小さいころ、ナバホ人(北米先住民の最大部族:編集者註)の友達と多くの時間を過ごしました。彼らは今でもよき友達です。彼らとの付き合いで学んだことは、彼らは何時間もぶっ続けで休むことなく羊の面倒を見ろということでした。その時、私は幼くあまり賢くなかったので、友達たちは羊の基本的なこと、でもとても価値のあることを教えてくれました。ここにいる羊たちは、ただの動物ではなく、彼らは代々受け継がれた大切なかけがえのないものたちであると言いました。私の目には羊たちは、門を出ると、常に導かれ、いかなる脅威からも守られ、そして、戻ると安全で居心地の良い小屋が待っていることを知っているように見えました。羊たちは安心して門を出ることができるのです。

イエス様は神の救いへとつながる道の門であり、その道中、神を信じることで、私たちは導きかれ、守られ、そして神の子として与えられる恵みを受けることができます。イエス様は私たちに約束してくださっておられます。神とともに歩む人生が今もこれからも保証されている私たちは、羊たちよりも、さらに大きな平安を受けることができます。

讃美歌 第二編 56

祈り 親愛なる主。あなた様の愛を信じ、あなた様に守られていることを喜ぶことができますように。あなた様を信じ、従う時、私たちは全能の羊飼いの愛に包まれていることを知ることができるようお助けください。
イエス様の御名によって。アーメン。

ランディ・ロバーツ
ニューメキシコ州 グランツ

1月31日(水)

団結の強い群れ

聖書朗読 ヨハネ 10:1~18

わたしは良い牧者です。わたしはわたしのものを知っています。

ヨハネ 10:14

羊を育てるための初心者用ガイドには、羊はもともと群本能がある動物であると書かれています。羊たちは自分たちを守るために大きなグループを作ります。羊は少なくとも5匹いないと安全を感じないそうです。

羊は静かで穏やかな声に最もよく反応します。羊はとても耳が良いので、大きな音がすると動揺してしまいます。健康な子羊はよく乳を飲み、そしてとても好奇心旺盛です。ですから母羊や牧者は子羊から目が離せません。

羊は群れで育ち、そして牧者が必要です。ですからイエス様が私たちの牧者であると言ったことに何の不思議もありません。イエス様は私たちが一人の牧者のもとに一つの群れとなることを望まれておられます(16節)。私たちの牧者としてイエス様は私たちのために命を差し出されます。私たちは牧者の声を知っています。ですから私たちはその声に皆で従います。

クリスチャンになりたての人は、霊的な栄養がたくさん必要な子羊です。イエス様は真の食べ物を与えてくださいます。彼らは聖書に興味があり、もっと知りたがりです。子羊をほっておくのではなく、群れの中の羊たちが子羊をほっておかないのと同じように、私たちが新しいクリスチャンたちに仕え、彼らが成長できるよう助けましょう。団結の強い群れとなってイエス様に従えるよう祈りましょう！

讃美歌 第二編 2

祈り 親愛なる、力強い神、イエス様が私たちの牧者であることを感謝いたします。イエス様の教えに従って、良い行いができるようお導きください。あなた様は私たちのために、そのことをあらかじめ備えてくださっておられます。

イエス様の御名によって。アーメン。

ラニータ・ブラッドリー・ボイド
ケンタッキー州 フォートトーマス

2月1日 (木)

忘れられない祝福

聖書朗読 ヨハネ 12:1~11

「書きしるせ。『今から後、主にあつて死ぬ死者は幸いである。』御霊も言われる。
「しかり。彼らはその労苦から解き放されて休むことができる。彼らの行いは彼らについて行くからである。」 黙示録 14:13

親切な行為は、さほど大きな思いはなく行われるのが通常です。しかし、マリヤがしたこの行いは今日まで語られています！ 『まことに、あなたがたに告げます。世界中のどこでも、この福音が宣べ伝えられる所なら、この人のした事も語られて、この人の記念となるでしょう。』(マタイ 26:13) とイエス様はおっしゃいました。マリヤは私の埋葬の用意をしてくれたのだとおっしゃいました。彼女はイエス様の葬儀にもっていく代わりに、生きていたときのイエス様にナルドの香油を差し出しました。家中を満たした香油の香りは世界中をも満たしました。

「小さな親切」を心がけていると言っている人を時々見かけます。もしかしたらあなたはすでにその親切を受け取っているかもしれません。レストランで支払いの時、誰かがすでにあなたの支払いを済ませていたということはありませんか？ もしくは、あなたが誰かの支払いを済ませたとか。決してこのような小さな親切がもたらす力を見くびってはいけません。これらの小さな親切は記念となることはありませんが、私たちが去った後でさえもこの小さな親切は無にはならないと約束されています。さあ、周りを見渡して、祝福する誰かを探しましょう！

讃美歌 471

祈り 我が御在天のお父様。闇と失望で満たされているこの世で、誰かに祝福を捧げられるよう私を明るく輝かせてください。
イエス様の御名によって。アーメン。

デール・フォスター
テキサス州 サイプレス

2月2日 (金)

平安が川のように

聖書朗読 ヨハネ 14:25~31

人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあつて守ってくれます。ピリピ 4:7

自分の命や時間について考えると不安やストレスを感じる時があります。ヘブル語で平安は「シャローム」と言います。その意味は、争いや苦しみがない状態、そしてそれにプラス、一体、安全、満足、完全といった意味までも含まれます。今日の聖句の中では、平安は霊的な不安がない状態であると言っています。私たちは神との平安の中にいることを知ることで、私たちが求める平安を得ることができるのです。

イエス様が弟子たちにこれらの言葉を語っていたのは、イエス様が近いうちに彼らのもとを去り、十字架での死が迫っていると知って心を騒がせている弟子たちをなだめているという状況の中でした。そんな時でも、イエス様は弟子たちに『心を騒がせてはなりません。』とおっしゃいました。

イエス様が弟子たちに残した平安は、私たちが今得ている平安と同じものです。

パウロははっきり言っています。もし私たちが、不安や心配を祈りの中で神に訴えるのなら、神は私たちに『人のすべての考えにまさる神の平安を与えてください。』(ピリピ 4:7)。ペテロは、私たちは『思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです。』(Iペテロ 5:7)と言っています。私たちがすべての思い煩いを神に委ねたとき、私たちの心配は私たちのもとを離れ、神の手に行くのです。

讃美歌 第二編 238

祈り 親愛なる主。あなた様のうちにあつて平安に暮らせる方法を与えてくださり感謝いたします。あなた様に祈りをささげるとき、苦しみや心配をいっさい捨て、あなた様の平安が私たちを満たしますように。
イエス様の御名によって。アーメン。

セラーズ・S・クレイン Jr.
テネシー州 ヘンダーソンビル

2月3日(土)

素晴らしい電源

聖書朗読 ヨハネ 15:1~8

わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからです。

ヨハネ 15:5

私は電気技師の夫と結婚して6年がたちます。最初の2年間、夫は私にはさっぱりわからないことをひたすら勉強していました。私は、形容詞と副詞を見分け、結構上手に懸垂分詞や分離不定詞を使わないようにすることはできるのですが、電気に関してはさっぱりで、むしろ怖さすら感じます。

ですから、電気関係で何か起こると、私はすぐに家にいるこの男性(夫)の方を見ます。私にはどうしようもできないことでも、夫はいとも簡単に直してしまいます。結婚してすぐの時に、私がランプをつけることができなかつた時のことを未だに忘れることができません。管理会社の人に来て、とりあえず電球を変えたのですが、ランプはつきませんでした。管理会社の人には知る限りのあらゆることを試してみた後、新人さんだったその管理会社の人はとても基本的なことに気が付いたのです。そのランプのコンセントは電源につながっていなかったのです！

私は聖書を読むときは、この新婚時代の出来事を必ず思い出します。電源につながらない状態で光ることができる物は一つありません。私たちにとっての電源とは、イエス様です！

讃美歌 525

祈り 親愛なる神。実を結ぶため、このことを忘れないようにお助けください。私たちはイエス様とつながっていなければなりません。イエス様は全ての力の源です。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

ケイ・バーナム・エヴァンス
テキサス州 ラボック

2月4日(日)

二つの真実

聖書朗読 ヨハネ 16:25~33

しかし、主は、「わたしの恵みは、あなたに十分である。というのは、わたしの力は、弱さのうちに完全に現れるからである」と言われたのです。ですから、私は、キリストの力が私をおおうために、むしろ大いに喜んで私の弱さを誇りましょう。』
Ⅱコリント 12:9

イエス様の最後の言葉(33節)で、イエス様は信仰を生きるときに直面する事実を弟子たちにお話になられました。それはこの世には患難があり、そしてイエス様は弟子たちに平安をお与えになるということです。

マタイの福音書から黙示録の中で、この世は常に困難にあふれていると書かれています。私たちの日々の信仰の歩みを、この私たちの周りにあふれる困難で邪魔されないようにしましょう。宗教者ですら、イエス様やイエス様の教えを否定するため彼らの信念を脇に押しやりました。これは今でも起きていることです。

教会や牧師への手紙の中で、私たちは多くの困難を知ります。パウロはテトスへの手紙の中で、パウロがテトスをクレトに残したのは、不健全な考えのもとに生活している人々を正しい道へ導くためであると言っています。しかし恵みの言葉もまた言っています。『私たちの救い主なる神のいつくしみと人への愛とが現れたとき、神は私たちが行った義のわざに9

ってではなく、ご自分のあわれみのゆえに、聖霊による、新生と更新との洗いをもって私たちを救ってくださいました。』(テトスへ 3:4~5)

黙示録の中で、イエス様は勝利を得る者は祝福を受けると、7度言っています(2:7, 11, 17, 26~28; 3:5, 12, 21)。

この世の困難のためにぬかるみにはまって、信仰を失わないようにしましょう。イエス様は私たちがこの世に打ち勝つための信用できる確かな導きを用意してくださっていることに感謝いたします。それは何物にも勝ります！

讃美歌 第二編 31

祈り 我が主イエスの神。この世に生きるために私たちに備えられたみことばに感謝いたします。

イエス様を通して。アーメン。

ラリー・カイン
テキサス州 ハイランドビレッジ